

国語

昨年度と同様に、A問題・B問題ともに、新潟県と全国の平均正答率を下回りましたが、昨年度に比べてその差を縮めました。

【課題】「敬語、漢字などの言語に関する知識を確実に身に付ける」ための指導や「文章を読み、必要な情報を取り出して自分の判断・考えを記述する力」を育成するための指導に工夫が必要

数学

A問題で、初めて全国の平均正答率を上回りました。B問題では、新潟県と全国の平均正答率を下回りましたが、昨年度に比べてその差を縮めました。中学校数学の学力は、改善傾向にあります。

【課題】「数量関係を文字式で表現する力」「筋道を立てて、根拠を基に説明する力」を育成するための指導に工夫が必要

2 国語・算数（数学）に関する意識

		小学校6年生			中学校3年生		
		南魚沼市	新潟県	全 国	南魚沼市	新潟県	全 国
国語の勉強は	好きか	67.0%	63.0%	58.3%	51.0%	59.2%	59.8%
	大切だと思うか	94.2%	93.5%	91.3%	90.0%	90.7%	89.1%
	内容はよく分かるか	84.6%	86.4%	80.7%	67.6%	77.1%	74.1%
	役立つと思うか	91.6%	91.9%	89.2%	86.9%	87.2%	84.6%
算数（数学）の勉強は	好きか	66.3%	65.8%	66.0%	45.1%	55.5%	56.0%
	大切だと思うか	93.8%	92.9%	91.9%	78.6%	82.3%	80.5%
	内容はよく分かるか	81.4%	82.6%	80.2%	63.7%	72.3%	69.4%
	役立つと思うか	93.6%	91.1%	89.9%	71.0%	74.4%	71.5%

昨年度と同様に全体的な傾向として、小学校では「好き」「大切」「分かる」「役立つ」と認識している児童が全国と比べて多く、中学校では、「大切」「役立つ」という認識はあるが、「好き」「分かる」に課題を残しています。

特に「教科の勉強が好き」「教科の勉強は大切だ」と教科学習を肯定的にとらえている児童・生徒の正答率が高い傾向にあります。授業の充実や家庭学習の習慣化をめざす中で、引き続き児童・生徒に学ぶことの価値を自覚してもらい、学習内容を定着させる指導の工夫が大切となります。

南魚沼市学習指導センターの指導により、児童・生徒が、自ら「～したい」と主体的に学習に取り組む学習課題の工夫や、仲間や対象と対話的に学ぶ学習形態の工夫を通して、深い学びに向かう指導に力を入れています。基本的な事柄をしっかりと身につけるとともに、主体的・協働的に学ぶ子どもの姿を大切にしながら、南魚沼市全体で「学力向上」をめざして取り組んでいきます。